

経営比較分析表（令和元年度決算）

福井県坂井市 坂井市立三国病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド透訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
91,376	8,291	第2種該当	10:1	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
105	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	105
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
105	-	105

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【】	令和元年度全国平均

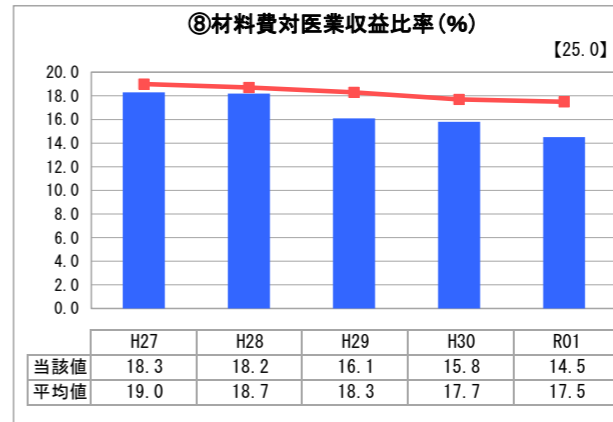
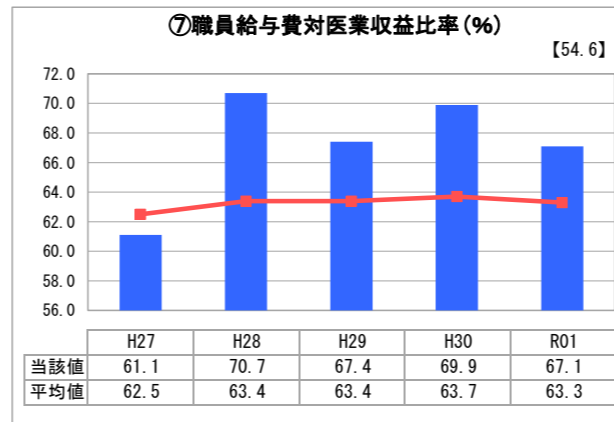
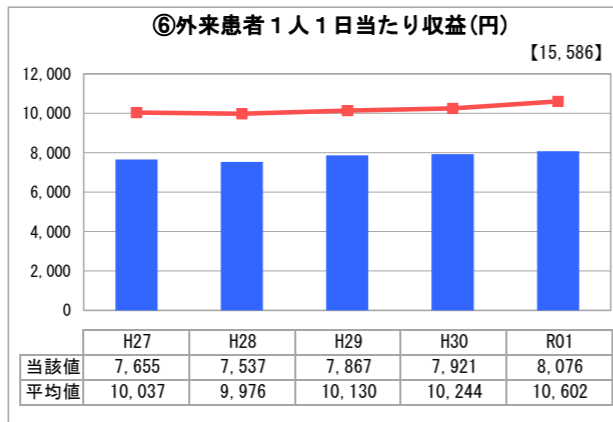
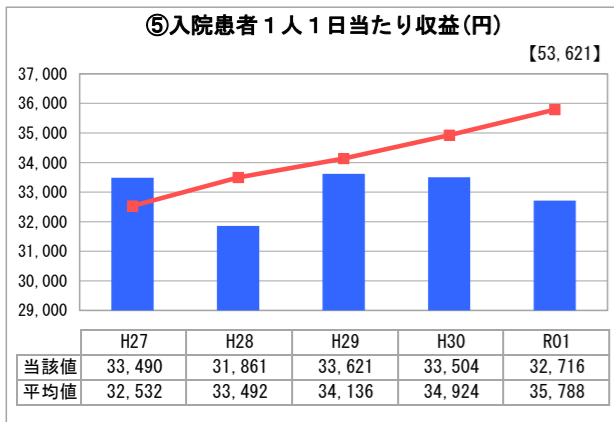
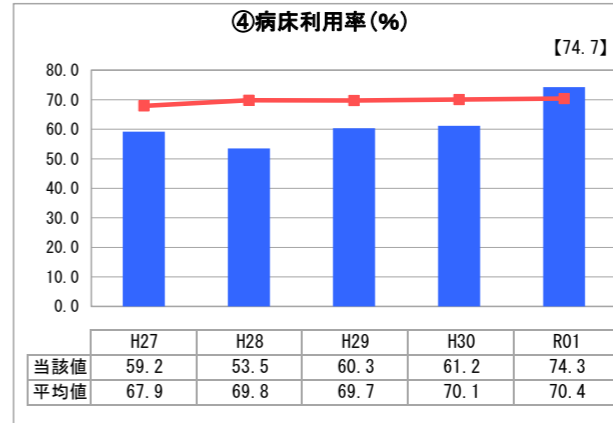
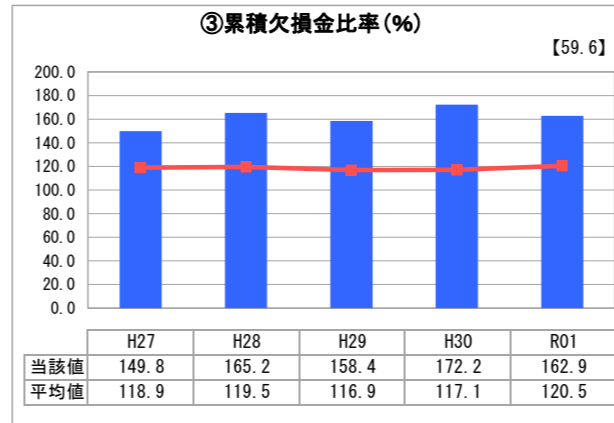
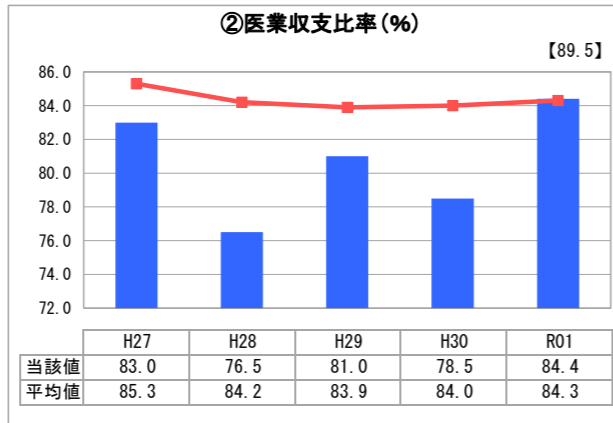
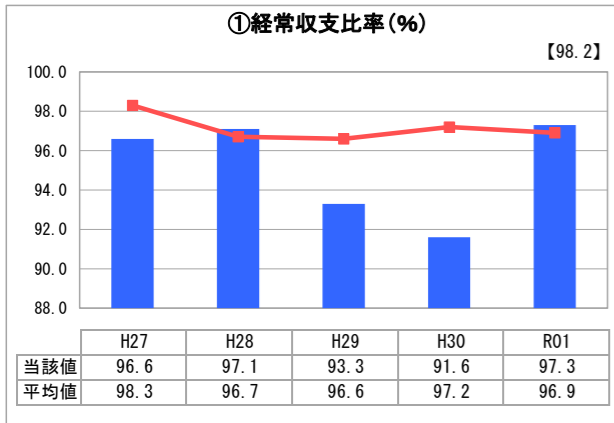
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

1. 経営の健全性・効率性



I 地域において担っている役割

当院は、市内でも数少ない産婦人科、小児科、人工透析を標榜するとともに救急告示病院として二次救急医療を担い、市民が安心して暮らし、子供を産み育てるための重要な社会インフラとしての役割を担っています。今後もこの役割を継続して担いつつ、高齢化に伴い増加が予想される回復期需要に的確に対応し、福井市をはじめとした急性期病院の後方支援機能を担います。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成29年3月策定の坂井市立三国病院新改革プランにおける数値目標として、令和2年度までに経常収支比率100%以上、病床利用率70%以上としています。経常収支比率は、目標値に届かなかったものの、直近では一番高く、また類似病院平均値を超える結果になりました。病床利用率は、目標値を超え、全国平均に近づく結果になりました。病床利用率の向上が、経営・医業収支率の向上の要因になっています。職員給与率は高い傾向にあり経営上の課題ですが、公立病院としての役割である救急、小児科、産科などの不採算部門の医療の提供を担う必要があることから職員給与率は高い水準にあります。

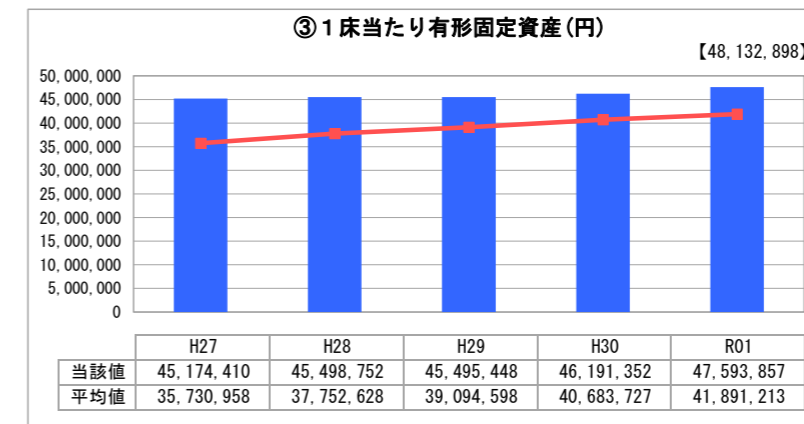
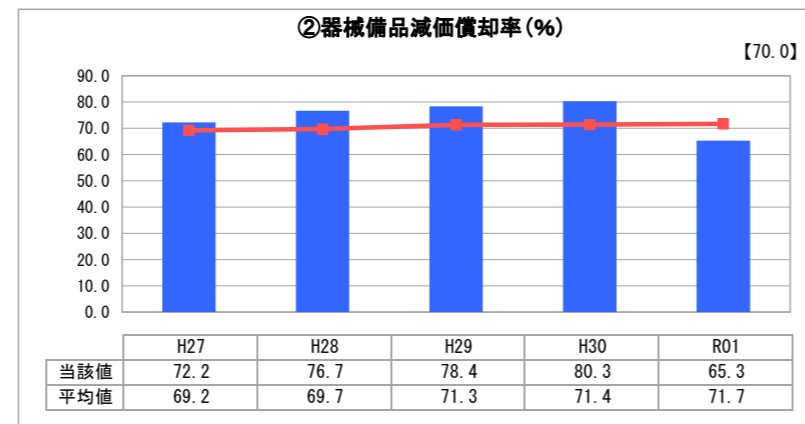
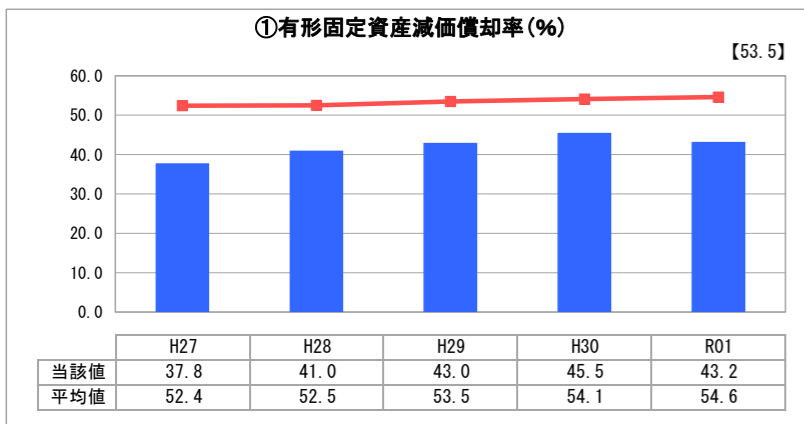
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、器械備品減価償却率ともに全国、類似病院平均値を下回り適正な水準にあります。1床当たりの有形固定資産は、全国平均は下回りますが、類似病院平均値を上回り、また病院施設の改築後14年が経過していることから、今後の計画的な投資、更新を図っていきます。

全体総括

これまで低水準が続いた病床利用率が目標値を超え、入院収益の増により経常収支比率が向上しました。当面は、公立病院としての維持に向け、今後も病床利用率の維持・向上等により、経営改善を図ることで、坂井市立三国病院新改革プランにおける数値目標を目指します。一方で、限りある病床数では収益の大きな向上は見込めず、また課題である職員給与の削減にも公立病院であるが故の限界があるため、経営改善を図ることが困難であると判断した場合、経営形態の見直しも視野に入れた取り組みを実施します。

2. 老朽化の状況



※ 「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。